

Precision 3630 Tower

セットアップと仕様ガイド

1



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

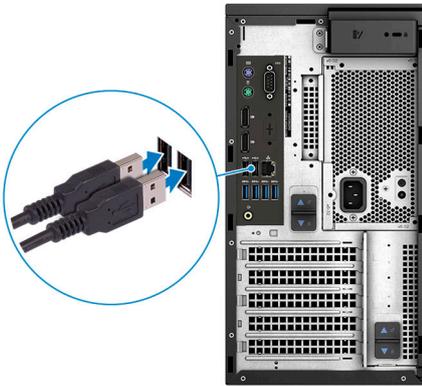
 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピュータのセットアップ	4
章 2: シャーシ	7
前面図.....	7
背面図.....	8
マザーボードのレイアウト.....	9
章 3: システム仕様	11
システム情報.....	11
プロセッサ.....	11
メモリ.....	13
ストレージ.....	13
ストレージ マトリックス.....	14
オーディオ.....	14
ビデオ カード.....	14
通信.....	15
ポートとコネクタ.....	16
メディア カード リーダー.....	16
電源装置.....	16
物理システムの寸法.....	17
コンピュータ環境.....	17
章 4: セットアップユーティリティ	19
ブートメニュー.....	19
ナビゲーションキー.....	19
セットアップユーティリティのオプション.....	19
Windows での BIOS のアップデート.....	26
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	27
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	27
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	28
F12 ワン タイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ.....	28
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	31
システム セットアップパスワードの割り当て.....	31
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	32
章 5: ソフトウェア	33
対応オペレーティングシステム.....	33
Windows ドライバのダウンロード.....	33
章 6: ヘルプ	34
Dell へのお問い合わせ.....	34

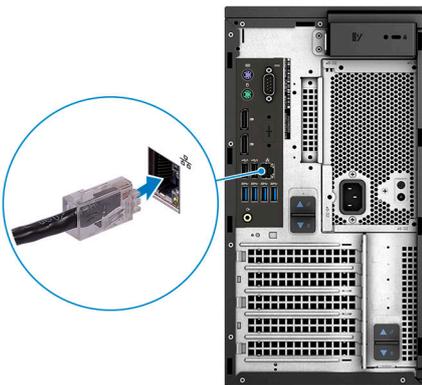
コンピュータのセットアップ

1. キーボードとマウスを接続します。



2. ケーブルを使用するか、ワイヤレス ネットワークに接続して、ネットワークに接続します。

i **メモ:** ワイヤレス ネットワーク カードはオプションのため、別途購入する必要があります。

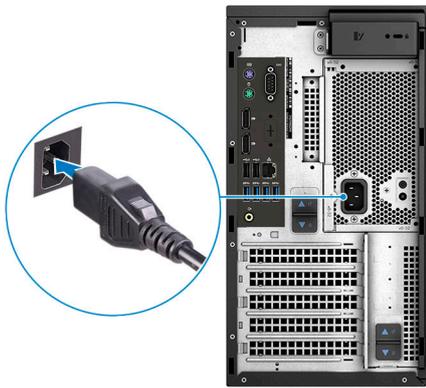


3. ディスプレイを接続します。



i **メモ:** 外付けグラフィックスカード搭載のコンピュータを注文した場合、コンピュータの背面パネルの HDMI ポートとディスプレイポートはカバーされています。外付けグラフィックスカードに、ディスプレイを接続します。

4. 電源ケーブルを接続します。

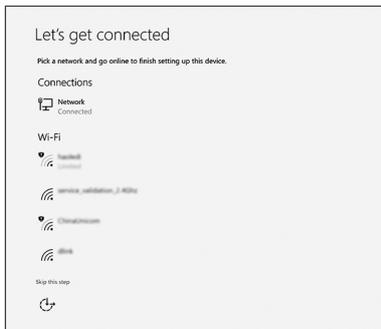


5. 電源ボタンを押します。

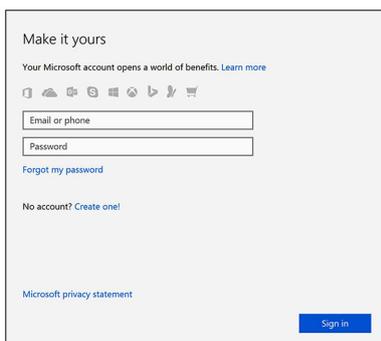


6. 画面の手順に従って Windows セットアップを完了します。

a. ネットワークに接続します。

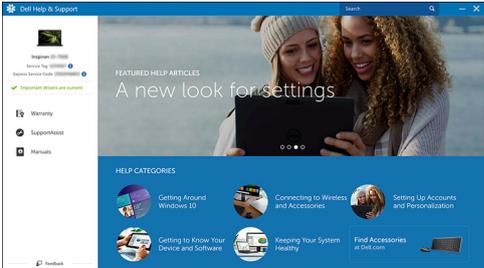


b. Microsoft アカウントにサインイン、または新しいアカウントを作成します。



7. Dell アプリを見つけます。

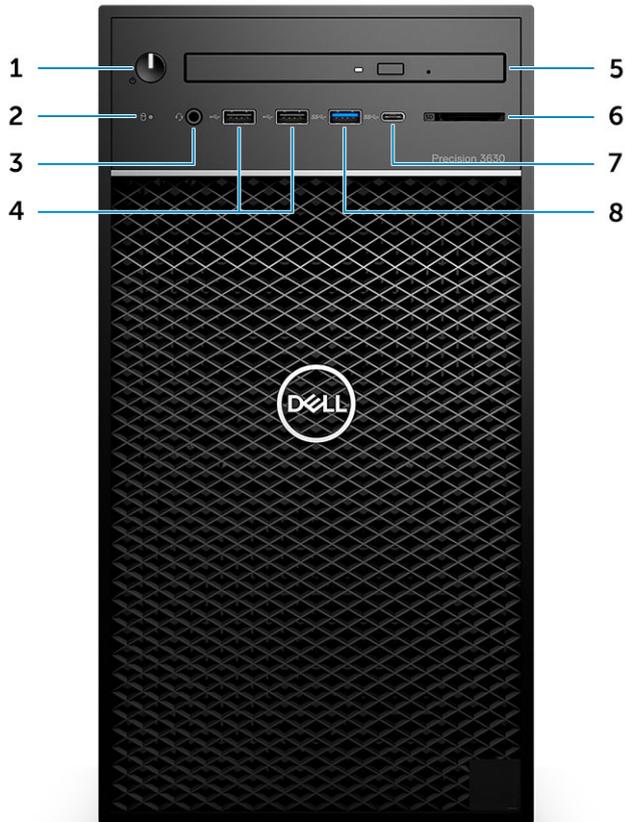
表 1. Dell アプリを見つける

アイコン	機能
	コンピュータを登録する
	Dell ヘルプとサポート 
	SupportAssist — コンピュータを確認してアップデートする

シャーシ

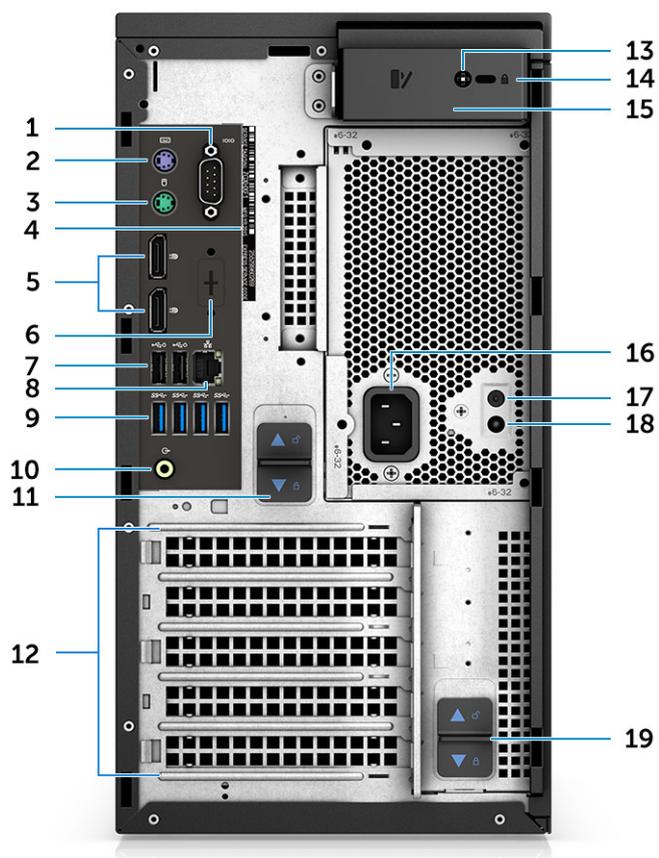
本章では、シャーシの各部（ポートおよびコネクタを含む）を図示すると共に、Fn ホットキーの組み合わせについて説明します。

前面図



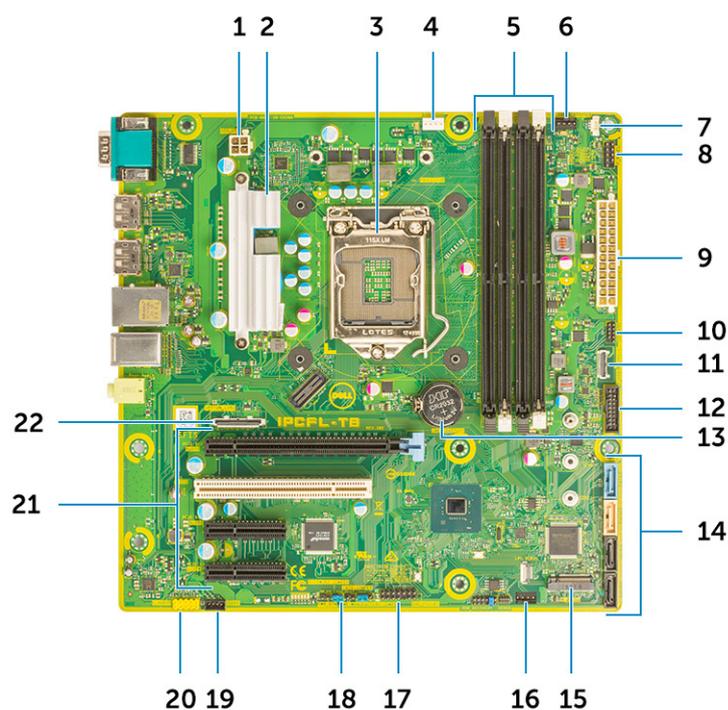
- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 電源ボタン/診断インジケータ | 2. ハードドライブ アクティビティ LED |
| 3. 3.5 mm のステレオ ヘッドセット/マイク コンボ | 4. USB 2.0 Type-A ポート |
| 5. 光学ドライブ/CAC リーダー (オプション) | 6. メディア カード リーダー (オプション) |
| 7. USB 3.1 Type-C ポート | 8. USB 3.0 Type-A ポート |

背面図



1. シリアル ポート
2. PS2 ポート (キーボード)
3. PS2 ポート (マウス)
4. サービス タグラベル
5. DisplayPort (2)
6. オプションの VGA、DP、HDMI、Type-C ドーターボードのプレースホルダー
7. USB 2.0 Type-A (SmartPower あり) (2)
8. LAN ポート (RJ45) ネットワーク コネクタ (速度最大 1000 Mbps)
9. USB 3.1 Gen1 ポート (4)
10. オーディオ ライン出力
11. PSU ヒンジ リリース ラッチ
12. 拡張カードスロット
13. サイド カバーの安全ネジ
14. ケンジントン/パドロック スロット
15. カバー リリース ラッチ
16. 電源コネクタ ポート
17. PSU ビルトイン自己テスト (BIST) ボタン
18. PSU ビルトイン自己テスト (BIST) LED
19. PSU ヒンジ リリース ラッチ

マザーボードのレイアウト



タワー システム ボードのコンポーネント

1. 電源 (CPU)
2. VR ヒートシンク (95 W ヒート シンク ソリューションでのみ使用可能)
3. プロセッサ ソケット
4. CPU ファンコネクタ
5. メモリー モジュールコネクタ
6. システムファンコネクタ
7. インターダー スイッチ コネクタ
8. 電源ボタン モジュール コネクタ
9. ATX PSU 電源コネクタ
10. SD カード リーダー コネクタ
11. 前面 パネル USB Type-C コネクタ
12. 前面 USB コネクタ
13. コイン型電池
14. SATA コネクタ
15. M.2 コネクタ
16. 前面ファン コネクタ
メモ: 7月19日以前に購入された PC には、前面ファン用のプロビジョンがなく、古いシステム ボードにはこのコネクタがない場合があります。
17. CAC_PIV/BT connector
18. パスワード ジャンパ
19. スピーカーコネクタ
20. オーディオコネクタ
21. PCIe スロット (上から下):
 - a. フル ハイ ト PCIe x16
 - b. PCI x1
 - c. フル ハイ ト PCIe x4 (2)

22. オプションのカード コネクター (VGA、HDMI、DP、USB Type-C)

システム仕様

- ① **メモ:** 提供されるものは地域により異なる場合があります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。コンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムで [ヘルプとサポート] を開き、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

システム情報

表 2. システム情報

特長	仕様
チップセット	インテル C246 チップセット
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	SP1 128 メガビット
PCIe バス	8 GHz
外付けバスの周波数	DMI 3.0-8GT/秒

プロセッサー

- ① **メモ:** プロセッサー番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサーの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサーの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
インテル Xeon プロセッサー:	
インテル Xeon E プロセッサー E-2224 (4 コア、4T、8 MB キャッシュ、3.3 GHz、4.5 GHz ターボ、71 W)	なし
インテル Xeon E プロセッサー E-2224G (4 コア、4T、8 MB キャッシュ、3.4 GHz、4.7 GHz ターボ、80 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Xeon E プロセッサー E-2236 (6 コア、12T、12 MB キャッシュ、3.4 GHz、4.8 GHz、ターボ、71 W)	なし
インテル Xeon E プロセッサー E-2246G (6 コア、12T、12 MB キャッシュ、3.5 GHz、4.8 GHz、ターボ、80 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Xeon E プロセッサー E-2274G (4 コア 8T、8 MB キャッシュ、3.5 GHz、4.9 GHz、ターボ、80 W)	インテル UHD グラフィックス P630
Intel Xeon E プロセッサー E-2286G (6 コア、12T、12 MB キャッシュ、3.8 GHz、4.9 GHz、ターボ、95 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Xeon E プロセッサー E-2124 (4 コア、8 MB キャッシュ、3.4 GHz、4.5 GHz ターボ、71 W)	なし

表 3. プロセッサの仕様 (続き)

タイプ	UMA グラフィックス
インテル Xeon E プロセッサ E-2124G (4 コア、8 MB キャッシュ、3.4 GHz、4.5 GHz ターボ、80 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Xeon E プロセッサ E-2136 (6 コア HT、12 MB キャッシュ、3.3 GHz、4.5 GHz ターボ、71 W)	なし
インテル Xeon E プロセッサ E-2146G (6 コア 12T、12 MB キャッシュ、3.5 GHz、4.5 GHz ターボ、80 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Xeon E プロセッサ E-2174G (4 コア 8T、8 MB キャッシュ、3.8 GHz、4.7 GHz ターボ、80 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Xeon E プロセッサ E-2186G (6 コア 12T、12 MB キャッシュ、3.8 GHz、4.7 GHz ターボ、95 W)	インテル UHD グラフィックス P630
インテル Core プロセッサ :	
インテル Core プロセッサ i3-9100 (4 コア、4T、6 MB キャッシュ、4.0 GHz、65 W)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i5-9500 (6 コア、6T、9 MB キャッシュ、3.0 GHz、4.0 GHz ターボ、65 W)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i5-9600 (6 コア、6T、9 MB キャッシュ、3.6 GHz、4.60 GHz ターボ、65 W)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i7-9700 (8 コア、8T、12 MB キャッシュ、3.6 GHz、4.70 GHz ターボ、65 W)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i7-9700K (8 コア、8T、12 MB キャッシュ、3.6 GHz、4.90 GHz ターボ、95 W)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i9-9900 (8 コア、16 MB キャッシュ、3.1 GHz、5.0 GHz ターボ)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i9-9900K (8 コア、16 MB キャッシュ、3.6 GHz、5.0 GHz ターボ)	インテル UHD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i3-8100 (4 コア、4T、6 MB キャッシュ、3.6 GHz、65 W)	Intel HD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i5-8500 (6 コア、6T、9 MB キャッシュ、3.0 GHz、4.1 GHz ターボ、65 W)	Intel HD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i5-8600 (6 コア、6T、9 MB キャッシュ、3.1 GHz、4.3 GHz、ターボ、65 W)	Intel HD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i7-8700 (6 コア、12T、12 MB キャッシュ、3.20 GHz、4.6 GHz、ターボ、65 W)	Intel HD グラフィックス 630
インテル Core プロセッサ i7-8700K (6 コア、12T、12 MB キャッシュ、3.7 GHz、4.7 GHz、ターボ、91 W)	Intel HD グラフィックス 630
インテル Pentium Gold プロセッサ :	
インテル Pentium Gold G5420 (2 コア、4T、4 MB キャッシュ、3.6 GHz、65 W)	インテル UHD グラフィックス 610
インテル Pentium Gold G5400 (2 コア、4T、4 MB キャッシュ、3.6 GHz、65 W)	インテル UHD グラフィックス 610

メモリ

表 4. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	128 GB
スロット数	UDIMM スロット (4)
スロットごとにサポートされる最大メモリ	32 GB
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 GB DDR4 (1 x 4 GB) - 非 ECC ● 8 GB DDR4 (2 x 4 GB) - 非 ECC ● 8 GB DDR4 (1 x 8 GB) - ECC/非 ECC ● 16 GB DDR4 (2 x 8 GB) - ECC/非 ECC ● 16 GB DDR4 (4 x 4 GB) - 非 ECC ● 32 GB DDR4 (4 x 8 GB) - ECC/非 ECC ● 32 GB DDR4 (2 x 16 GB) - ECC/非 ECC ● 64 GB DDR4 (4 x 16 GB) - ECC/非 ECC ● 128 GB DDR4 (4 x 32 GB) - ECC/非 ECC
タイプ	DDR4 SDRAM または ECC メモリ
速度	<ul style="list-style-type: none"> ● 2666 MHz (6 コア) ● 2400 MHz (4 コア)

ストレージ

表 5. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	セキュリティオプション	容量
SSD (ソリッドステートドライブ) (1)	4 x M.2 2280/ 2260/ 2242 PCIe	<ul style="list-style-type: none"> ● SATA AHCI、最大 6 Gbps ● PCIe 3 x 4 NVMe、最大 32 Gbps 	あり (SED ドライブ)	最大 2 TB
2.5 インチ HDD (ハードディスクドライブ) (1)	約 (2.760 x 3.959 x 0.374 インチ)	SATA AHCI、最大 6 Gbps	あり (SED/FIPS HDD)	最大 2 TB
2.5 インチ ソリッドステートドライブ (SSD) (1)	約 (2.760 x 3.959 x 0.374 インチ)	SATA AHCI、最大 6 Gbps	NONE (なし)	最大 1TB
3.5 インチ ハードディスクドライブ (HDD) (1)	約 (4.00 x 1.00 x 0.984 インチ)	SATA AHCI、最大 6 Gbps	NONE (なし)	最大 8 TB
Zoom2 カード	M.2 2280 PCIe x4	PCIe x 4、最大 32 Gbps	NONE (なし)	最大 2 TB

ストレージ マトリックス

表 6. ストレージの組み合わせ

プライマリ/ブート ドライブ	セカンダリ ドライブ
M.2 ドライブ	最大 3 台の 3.5 インチ/4 台の 2.5 インチ SATA SSD/HDD/PCIe SSD M.2 インターポーザー カード
2.5 インチ ドライブ	最大 2 台の 3.5 インチ/3 台の 2.5 インチ SATA SSD/HDD/1 台の M.2 ドライブ/PCIe SSD M.2 インターポーザー カード
3.5 インチ ドライブ	最大 2 台の 3.5 インチ/3 台の 2.5 インチ SATA SSD/HDD/1 台の M.2 ドライブ/PCIe SSD M.2 インターポーザー カード

オーディオ

表 7. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	内蔵 Realtek ALC3234
タイプ	2 チャンネル HD オーディオ
スピーカー	1 回
インタフェース	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサル オーディオ ジャック (背面) ステレオ ヘッドセット/マイク コンボ (前面)
アンプ内蔵スピーカー	2 W

ビデオ カード

表 8. ビデオ カードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
Intel HD グラフィックス 630	UMA	インテル Core i3、i5、または i7 8XXX シリーズ プロセッサ	内蔵	共有システムメモリ	DisplayPort (2)	4096 x 2304
インテル UHD グラフィックス 610	UMA	インテル Pentium Gold G54XX シリーズ プロセッサ	内蔵	共有システムメモリ	DisplayPort (2)	4096 x 2304
インテル UHD グラフィックス 630	UMA	インテル Core i3、i5、または i7 9XXX シリーズ プロセッサ	内蔵	共有システムメモリ	DisplayPort (2)	4096 x 2304
インテル UHD グラフィックス P630	UMA	インテル Xeon E-21XXG および 22XXG シリ	内蔵	共有システムメモリ	DisplayPort (2)	4096 x 2304

表 8. ビデオ カードの仕様 (続き)

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリタイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
		ーズ プロセッサ				
nVIDIA Quadro P シリーズ (P5000、P4000、P2000、P1000、P620、P400)	専用	NA	GDDR5/ GDDR5X	2 GB ~ 16 GB	DisplayPort(DP 1.4) (最大 4 個) DVI-I	4096 x 2304
nVIDIA GeForce シリーズ 10 (GTX 1080/1060)	専用	NA	GDDR5/ GDDR5X	6 GB/8 GB	DVI-D HDMI 2.0 3x DP 1.3(DP 1.4 対応)	4096 x 2304
nVIDIA Quadro RTX シリーズ (RTX4000、RTX5000)	専用	NA	GDDR5/ GDDR5X	6 GB/8 GB	DVI-D HDMI 2.0 3x DP 1.3(DP 1.4 対応)	7680 x 4320
nVIDIA GeForce シリーズ 20 (RTX2060 SI、RTX 2080B/RTX 2080 Super)	専用	NA	GDDR5/ GDDR5X	6 GB/8 GB	DVI-D HDMI 2.0 最大 3x DP1.3 (DP 1.4 実行可能)	7680 x 4320
AMD Radeon Pro WX シリーズ (2100、3200、3100、4100、5100、7100) および RX580	専用	NA	GDDR5	2 GB ~ 8 GB	DP 1.3 ミニ DP (2 ~ 4)	4096 x 2304

ⓘ **メモ:** 電力定格が 75 ワット以上のグラフィックスカードでは、6 ピンおよび/または 8 ピンの電源コネクタードングルが必要です。

通信

表 9. 通信の仕様

特長	仕様
ワイヤレス 周波数帯域 : 2.4 GHz、5 GHz	インテル® Dual Band Wireless-AC 9260 (Thunder Peak 2) 802.11AC 2x2 Wi-Fi + BT 5 LE M.2 ワイヤレスカード Qualcomm QCA9377 デュアルバンド WiFi および Bluetooth カード
アドインカード	1 GB NIC、2.5 GB/5 GB NIC
RJ45 ネットワークアダプタ(10/100/1000 Mbps)	インテル® Ethernet Connection I219 シリーズ

ポートとコネクタ

表 10. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリカードリーダー	SD 4.0 メディア カード リーダー (オプション)
スマートカードリーダー	オプション
USB	<ul style="list-style-type: none">● USB 2.0 Type-A ポート (前面) (2)● USB 3.1 Gen 2 Type-C ポート (前面) (1)● USB 3.1 Type-A ポート (前面) (1)● 4 x USB 3.1 Gen 1 ポート (背面)● USB 2.0 ポート (背面、SmartPower 対応) (2) <p> メモ: SmartPower On 機能は中国では使用できません</p>
セキュリティ	Noble Wedge/ケンジントン ロック スロット
オーディオ	ユニバーサル オーディオ ジャック (前面) ライン出力 (背面)
ビデオ	<ul style="list-style-type: none">● DisplayPort/HDMI/VGA/USB Type-C (オプション)● 2 x DisplayPort 1.2
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ x 1
シリアルポート	シリアル ポート (1)
PS/2	<ul style="list-style-type: none">● マウス● キーボード

メディアカードリーダー

表 11. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	USB 3.0 インターフェイスを使用したプッシュプル タイプ
サポートされているカード	<ul style="list-style-type: none">● SD● SDHC● SDXC● UHS-I● UHS-II

電源装置

表 12. 電源仕様

特長	仕様
エネルギー効率電源装置	内蔵
80 PLUS Bronze 認証	300 W EPA Bronze (SD なし)

表 12. 電源仕様 (続き)

特長	仕様
80 PLUS Gold 認証	300 W/460 W (SD あり) と 850 W (SD あり)
リサイクル可能パッケージ	オプション、米国のみ
マルチパック パッケージ	無

物理システムの寸法

表 13. 物理システムの寸法

特長	仕様
シャーシの体積 (リットル)	20.41
シャーシの重量 (キログラム/ポンド)	23.37/10.6

表 14. シャーシ寸法

特長	仕様
高さ (センチメートル/インチ)	13.19/33.50
幅 (センチメートル/インチ)	6.95/ 17.66
奥行 (センチメートル/インチ)	13.58/34.50
梱包重量 (キログラム/ポンド - 梱包材を含む)	33/14.97

表 15. パッケージのパラメーター

特長	仕様
高さ (センチメートル/インチ)	18.5/47
幅 (センチメートル/インチ)	13.9/35.3
奥行 (センチメートル/インチ)	19.37/49.2

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

メモ: デルの環境機能の詳細については、環境属性のセクションを参照してください。可用性については、特定の地域を参照してください。

表 16. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 80% (結露しないこと) メモ: 最高露点温度 = 26 °C	10 ~ 95 % (結露しないこと) メモ: 最高露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.26 GRMS	1.37 GRMS

表 16. コンピュータ環境 (続き)

	動作時	ストレージ
衝撃 (最大)	40 G [†]	105 G [‡]
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (-50 フィート ~ 10,000 フィート)	-15.2 m ~ 10,668 m (-50 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、デスクトップハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効/無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワнтаイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

i **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

セットアップユーティリティのオプション

i **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに記載されている項目の一部が表示されない場合があります。

表 17. 一般規定

オプション	説明
システム情報	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● システム情報 ● メモリ構成 ● PCI 情報 ● プロセッサ情報 ● デバイス情報
Boot Sequence	コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Windows Boot Manager ● Onboard NIC (オンボード NIC) ● Onboard NIC (オンボード NIC)
Boot List Options (起動リストオプション)	起動リストオプションを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Legacy (レガシー) ● UEFI (デフォルト)
詳細起動オプション	レガシーオプション ROM を有効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Legacy Option ROMs (レガシーオプション ROM を有効にする)(デフォルト : 無効)
UEFI Boot Path Security	<ul style="list-style-type: none"> ● Always, Except Internal HDD (デフォルト) ● Always (常に) ● なし
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

表 18. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	オンボード LAN コントローラを制御できます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● 有効 ● Enabled w/PXE (PXE で有効) (デフォルト)
Serial Port (シリアルポート)	シリアルポート設定を識別および定義します。シリアルポートは次のいずれかに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● COM1 (デフォルト) ● COM2 ● COM3 ● COM4
SATA Operation	内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● AHCI ● RAID On (デフォルト)
Drives	基板上の SATA ドライブを設定することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● SATA-0 ● SATA-1 ● SATA-2 ● SATA-3 ● SATA-4

表 18. システム設定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● M.2 PCIe SSD-0 デフォルト設定 : ドライブはすべて有効です。
SMART Reporting	このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) 仕様の一部です。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
USB 設定	USB 設定を有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Boot Support (デフォルト) ● Enable Front USB Ports (デフォルト) ● Enable Rear USB Ports (デフォルト)
Front USB Configuration	前面 USB の設定を有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 前面ポート 1 (左) ● 前面ポート 2 (中央) ● 前面ポート 3 (右) * ● 前面ポート 4 (Type C) * *は USB 3.0 対応ポートを示します。
Rear USB Configuration	背面 USB の設定を有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 背面ポート 1 (左上) ● 背面ポート 2 (右上) ● 背面ポート 3 (左) * ● 背面ポート 4 (中央左) * ● 背面ポート 5 (中央右) * ● 背面ポート 6 (右) * *は USB 3.1 Gen 1 対応ポートを示します。
Memory Map IO above 4 GB	このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
USB PowerShare	USB PowerShare を有効または無効にすることができます。 Enable USB PowerShare (USB PowerShare を有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
オーディオ	オーディオ機能を有効または無効にすることができます。 Enable Audio (オーディオを有効にする) (デフォルト) <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Microphone (デフォルト) ● Enable Internal Speaker (デフォルト)
Miscellaneous devices	各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable PCI Slot (デフォルト) ● Enable Secure Digital (SD) card (デフォルト) ● Secure Digital (SD) Card Boot (デフォルト)

表 19. ビデオ

オプション	説明
Multi-Display	このオプションはデフォルトで選択されています。
Primary Display	使用可能な複数のビデオコントローラがある場合に、プライマリビデオコントローラを設定できます。オプションは次のとおりです。

表 19. ビデオ (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● Auto (自動) (デフォルト) ● Intel HD グラフィックス ● NVIDIA HD Graphics

表 20. セキュリティ

オプション	説明
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数をコントロールすることができます。文字の範囲は 4 ~ 32 の間です。
Password Bypass	<p>このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password (システム (起動) パスワード) と内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled — パスワードが設定されると、システムおよび内蔵ハード ディスク ドライブのパスワード入力のダイアログが表示されます。このオプションはデフォルトで有効化されています。 ● Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート) 。 <p>メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が常に指示されます。</p>
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。</p> <p>Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
UEFI Capsule Firmware Updates	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されていますこのオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service (LVFS) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 Security	<p>TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TPM On (デフォルト) ● Clear (クリア) ● PPI Bypass for Enable Commands (デフォルト) ● 無効なコマンドの PPI をスキップ ● PPI Bypass for Clear Commands ● Attestation Enable (デフォルト) ● Key Storage Enable (デフォルト) ● SHA-256 (デフォルト) <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● Enabled (有効) (デフォルト)
Computrace	<p>オプションの Absolute Software 社製 Computrace サービスの BIOS モジュールインタフェースをアクティブまたは無効に設定することができます。資産管理用に設計されているオプションの Computrace サービスを有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Deactivate (非アクティブ) ● Disable (無効) ● Activate (デフォルト)
Chassis Intrusion	このフィールドでは、シャーシイントルージョン機能を制御します。

表 20. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● 有効 ● On-Silent (デフォルト)
OROM Keyboard Access	<ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● Enabled (有効) (デフォルト) ● One Time Enable (1 回のみ有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を阻止することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SMM Security Mitigation	追加の UEFI SMM セキュリティ緩和保護機能を有効または無効にすることができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

表 21. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Secure Boot Mode	<ul style="list-style-type: none"> ● Deployed Mode (デフォルト) ● Audit Mode
Expert Key Management	カスタムモードのキー管理を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) (このオプションはデフォルトで有効に設定されていません) 有効の場合、オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● PK (デフォルト) ● KEK ● db ● dbx

表 22. Intel Software Guard Extensions

オプション	説明
Intel SGX Enable	Intel Software Guard Extensions を有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● 有効 ● Software Controlled (デフォルト)
Enclave Memory Size	Intel Software Guard Extensions Enclave Reserve Memory のサイズを変更できます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 32 MB ● 64 MB ● 128 MB

表 23. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドでは、プロセッサが1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。このオプションはデフォルトで有効化されています。プロセッサのマルチコアサポートを有効または無効にすることができます。オプションは次のとおりです。

表 23. パフォーマンス (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● All (すべて) (デフォルト) ● 1 ● 2 ● 3 <p>① メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示されるオプションはインストールされているプロセッサによって異なる可能性があります。 ● オプションはインストールされているプロセッサがサポートするコアの数によります。(N- コアプロセッサ用すべて、1、2、N-1)
Intel SpeedStep	Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定 : Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)
C-States Control	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。 C States (C ステート) (このオプションはデフォルトで選択されています)
Cache Prefetcher	<ul style="list-style-type: none"> ● Hardware Prefetcher (デフォルト) ● Adjacent Cache Prefetch (デフォルト) <p>[Hardware Prefetcher] が有効の場合、プロセッサのハードウェアプリフェッチャーは、プロセッサのデータとコードを自動的にプリフェッチします。 [Adjacent Cache Prefetch] が有効の場合、プロセスは現在要求されているキャッシュラインと後続のキャッシュラインを取得します。</p>
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 [Intel TurboBoost] オプションはデフォルトで設定されています。
Hyper-Thread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● Enabled (デフォルト)

表 24. 電力管理

オプション	説明
AC Recovery	AC 電源損失後に AC 電源を投入したときのコンピューターの動作を指定します。AC リカバリは次のいずれかに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源オフ (デフォルト) ● 電源を入れる ● Last Power State (直前の電源状態)
Enable Intel Speed Shift Technology	Intel Speed Shift Technology のサポートを有効または無効にすることができます。[Enable Intel Speed Shift Technology] オプションはデフォルトで設定されています。
Auto On Time	コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) (デフォルト) ● Every Day (毎日) ● Weekdays (平日) ● Select Days (選択した日)
Deep Sleep Control	ディープスリープを有効にするタイミングの制御を定義することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) ● Enabled in S5 only (S5 のみで有効) ● Enabled in S4 and S5 (デフォルト)

表 24. 電力管理 (続き)

オプション	説明
Fan Control Override	システムファンの速度を制御できます。オプションは次のとおりです。 [Fan Control Override] オプションは、デフォルトでは有効になっていません。
Wake on LAN/WLAN(ウェイクオン LAN / WLAN)	このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガすることで、コンピュータの電源をオフ状態からオンにすることができます。スタンバイ状態からのウェークアップは設定の影響を受けないので、オペレーティングシステムで有効にする必要があります。この機能は、コンピュータが AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) (デフォルト) ● LAN Only (LAN のみ) ● WLAN Only (WLAN のみ) ● LAN or WLAN (LAN または WLAN) ● LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN)
Block Sleep	OS の環境でスリープ (S3 ステート) に入るのをブロックすることができます。[Block Sleep] オプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 25. POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
Numlock LED	システムを起動する時に、NumLock 機能を有効にするかどうかを指定できます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Keyboard Errors	起動時に、キーボードに関連するエラーを報告するかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Extend BIOS POST Time	このオプションでは、プレブート遅延を追加で作成します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 0 Seconds (デフォルト) ● 5 秒 ● 10 秒
Full Screen logo	このオプションでは、お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示するかどうかを指定します。[Enable Full Screen Logo] オプションは、デフォルトでは設定されていません。
Warnings and Errors	このオプションでは、警告またはエラーが検出された場合に起動プロセスが一時停止するかどうかを指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Prompt on Warnings and Errors (デフォルト) ● Continue on Warnings (警告検出でも続行) ● Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)

表 26. 管理機能

オプション	説明
USB provision	このオプションは、デフォルトでは選択されていません。
MEBx Hotkey	このオプションは、デフォルトで選択されています

表 27. Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	このオプションでは、インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Intel Virtualization Technology (Intel バーチャライゼーションテクノロジーを有効にする) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

表 27. Virtualization Support (仮想化サポート) (続き)

オプション	説明
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 向けインテル・バーチャライゼーション・テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 向け仮想化テクノロジーを有効にする) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Trusted Execution	<p>この指定により、MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) は、Intel Trusted Execution Program による追加ハードウェア機能を活用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Trusted Execution - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 28. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	コンピュータのサービスタグを表示します。
Asset Tag	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
SERR Messages	SERR メッセージのメカニズムを制御することができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。SERR Message メカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。
BIOS Downgrade	前のリビジョンへのシステムファームウェアのフラッシングを制御することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Data Wipe	すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
BIOS Recovery	リカバリファイルを使用して、破損した BIOS の特定の状況からリカバリすることができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。

表 29. システムログ

オプション	説明
BIOS events	<p>システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログを消去

表 30. 詳細設定

オプション	説明
ASPM	<p>アクティブステートの電源管理レベルを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Auto (自動) (デフォルト) ● Disabled (無効) ● L1 Only (L1 のみ)
PCIe Linkspeed	<p>システム内のデバイスによって達成可能な最大 PCIe リンク速度を選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Auto (デフォルト) ● Gen1 ● Gen2

Windows での BIOS のアップデート

システムボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システムセットアップ) をアップデートすることをお勧めします。

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - サービス タグやエクスプレス サービス コードを入力し、**送信**をクリックします。
 - [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の **製品サポート** ページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **Please select your download method below** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**ファイルのダウンロード** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、**保存** をクリックします。
12. **実行** をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。「**BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート (英語)**」

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブート可能 USB フラッシュ ドライブに保存します。

メモ: ブート可能 USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。さらなる詳細については、次の記事を参照してください。「**Dell Diagnostics Deployment Package (DDDP) を使用してブート可能 USB フラッシュ ドライブを作成する方法**」

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブート可能 USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ログが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB ストレージ デバイス** を選択し、[**Enter**] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [**Enter**] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティがロードされます。画面の指示に従います。



図 1. DOS の BIOS アップデート画面

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、「<https://www.dell.com/support/article/sln171755/>」を参照してください。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ

FAT32 USB キーにコピーされた BIOS アップデート.exe ファイルを使用したシステム BIOS のアップデートと、F12 ワンタイム ブート メニューからのブート

BIOS のアップデート

ブータブル USB キーを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、システムの F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製システムにはこの機能があり、システムを F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、システムのブート オプションとして [BIOS FLASH UPDATE] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

① | メモ: F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS Flash Update] オプションがあるシステムのみがこの機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

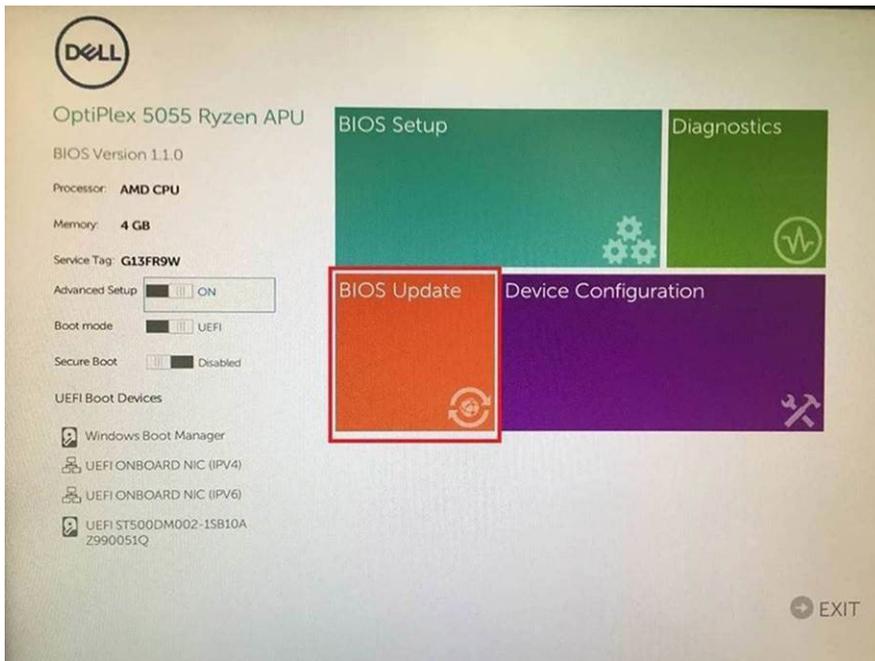
F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、以下のものがが必要です。

- FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB キー (キーはブータブルでなくてもよい)
- デル サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB キーの root にコピーした BIOS 実行ファイル
- システムに接続された AC 電源アダプタ
- BIOS をフラッシュする動作可能なシステム バッテリ

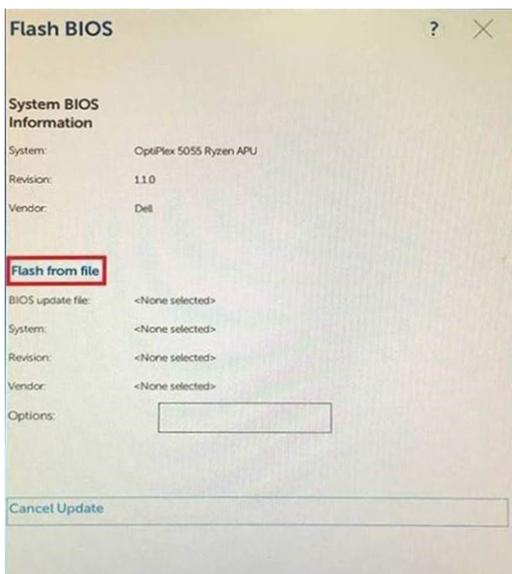
F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

△ | 注意: BIOS のアップデート プロセス中にシステムの電源をオフにしないでください。システムの電源をオフにすると、システムが起動しない可能性があります。

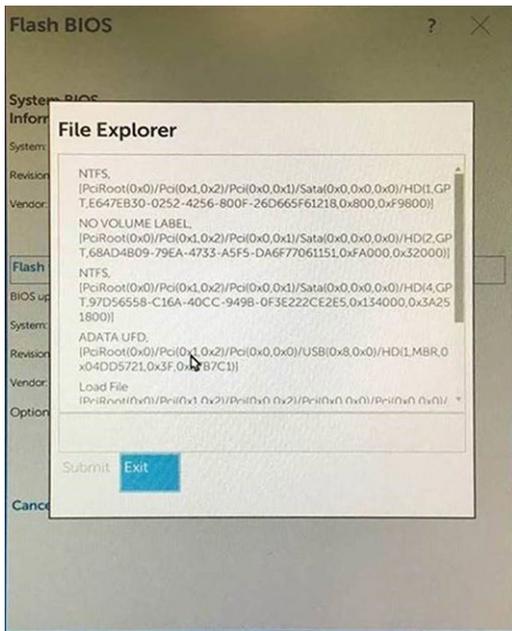
1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB キーをシステムの USB ポートに挿入します。
2. システムの電源をオンにし、F12 キーを押してワンタイム ブート メニューにアクセスし、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS Update] をハイライト表示し、**Enter** を押します。



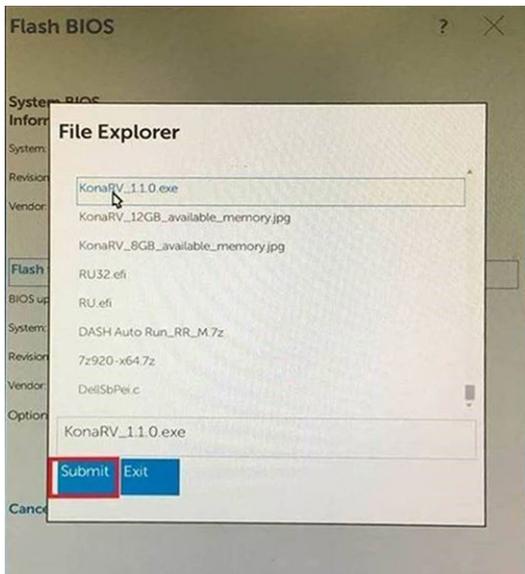
3. BIOS フラッシュ メニューが開いたら、[**Flash from file**] をクリックします。



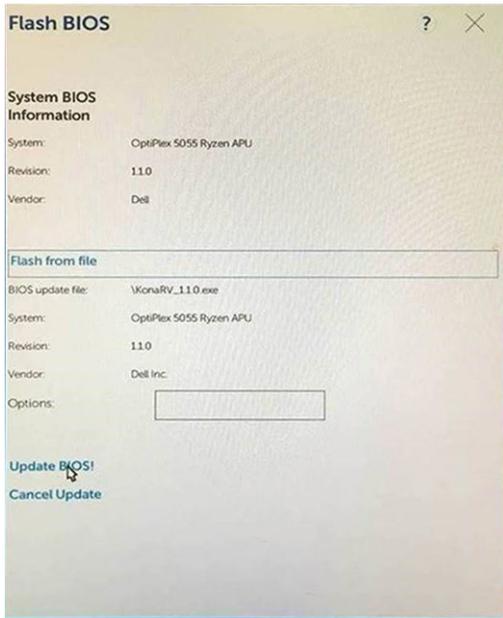
4. 外部 USB デバイスを選択します。



5. ファイルが選択されたら、フラッシュターゲットファイルをダブルクリックし、[Submit] を押します。



6. **Update BIOS** をクリックします。システムが再起動して BIOS をフラッシュします。



7. 完了するとシステムが再起動し、BIOS のアップデート プロセスが完了します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 31. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△ 注意: パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ 注意: コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

ⓘ メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは**管理者**パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

1. システム BIOS 画面またはシステム セットアップ画面で、**セキュリティ**を選択し、**Enter** を押します。セキュリティ画面が表示されます。
2. システム/管理者パスワードを選択し、新しいパスワードを入力フィールドでパスワードを作成します。以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([] (\) () (`)
3. 新しいパスワードの**確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。

5. **Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、パスワード ステータスが (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. システム **BIOS** 画面またはシステム セットアップ画面で、システム セキュリティを選択し、**Enter** を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. システム パスワードを選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. セットアップ パスワードを選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

ソフトウェア

この章では、サポート対象のオペレーティングシステムとドライバのインストール方法を説明します。

対応オペレーティングシステム

表 32. 対応オペレーティングシステム

対応オペレーティングシステム	説明
Windows オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft Windows 10 Home (64 ビット) ● Microsoft Windows 10 Pro (64 ビット) ● Microsoft Windows 10 Pro National Academic (64 ビット) ● Microsoft Windows 10 Home National Academic (64 ビット)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● Ubuntu 16.04 SP1 LTS (64 ビット) ● Neokylin v6.0 SP4 (中国のみ) ● Red Hat Enterprise Linux 7.5

Windows ドライバのダウンロード

1. の電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. **製品サポート** をクリックし、のサービス タグを入力して、**送信** をクリックします。

 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、**ドライバー** を選択してインストールします。
7. **ファイルのダウンロード** をクリックして、お使いの用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブル クリックし、画面の指示に従います。

Dell へのお問い合わせ

メモ: インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域を選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。